

周術期に休薬が必要とされる薬剤の一覧(五十音順)

※この表はあくまでも目安であり、患者の病態に応じてリスクを考慮し判断してください

2025年3月更新

	薬剤名	分類	休薬期間
アルファベット	HCGモチダ筋注用	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
ア行	アスピリン・アスピリン原末	抗血小板薬	7-10日
	アスピリン腸溶錠	抗血小板薬	7-10日
	アナストロゾール錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	アリッサ配合錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌
	アリミデックス錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	アロマシン錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	アンジュ21錠・28錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	アンブラーグ錠・細粒	抗血小板薬	1日
	イグザレルト錠・OD錠・細粒分包・ドライシロップ小児用	抗凝固薬	1日
	イコサペント酸エチルカプセル・粒状カプセル	抗血小板薬	7-10日
	イニシンク配合錠	糖尿病薬	術前2日
	イフェンプロジル酒石酸塩錠	脳循環・代謝改善薬	1日
	ウェールナラ配合錠	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	ウトロゲスタン腔用カプセル	ホルモン薬	該当資料はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	エキセメスタン錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	エクメット配合錠	糖尿病薬	術前2日
	エストラーナテープ	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	エストラサイトカプセル	ホルモン薬	該当資料はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	エストラジオール錠	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	エストリール錠	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	エパデルカプセル	抗血小板薬	7-10日
	エパデルS	抗血小板薬	7-10日
	エパデルEMカプセル	抗血小板薬	7-10日
	エビスタ錠	ホルモン薬	静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症、肺塞栓症、網膜静脈血栓症を含む)のリスクが上昇するため、長期不動状態(術後回復期、長期安静期等)に入る3日前には本剤の服用を中止し、完全に歩行可能になるまでは投与を再開しないこと(添付文書・IF)。
	エフィエント錠・OD錠	抗血小板薬	14日
	エフメノカプセル	ホルモン薬	休薬の必要性はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(添付文書・IF・メーカー回答)
	エリキュース錠	抗凝固薬	1-2日
	オバルモン錠	抗血小板薬	1日
	オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル	脳循環・代謝改善薬	7-10日
カ行	カナグル錠・OD錠	糖尿病薬	術前3日
	カナリア配合錠	糖尿病薬	術前3日
	キャピリン配合錠	抗血小板薬	7-10日
	グリコラン錠	糖尿病薬	術前2日
	クロピドグレル錠	抗血小板薬	14日
	ケアロードLA錠	抗血小板薬	1日
	ケタスカプセル	脳循環・代謝改善薬	3日
	ゴナトロピン注用	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	ゴナトロピン筋注用	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	コメリアンコーワ錠	抗血小板薬	2-3日
コンブラピン配合錠	抗血小板薬	14日	
サ行	サアミオン錠・散	脳循環・代謝改善薬	1-2日
	サルボグレレート塩酸塩錠	抗血小板薬	1日
	ジェミナ配合錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	ジピリダモール錠・散	抗血小板薬	1-2日
	ジベトス錠	糖尿病薬	術前2日
	ジャディアンス錠	糖尿病薬	術前3日
	ジュリナ錠	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	ジラゼブ塩酸塩錠	抗血小板薬	2-3日
	シロスタゾール錠・OD錠・内服ゼリー	抗血小板薬	3日
	シンフェーズT28錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	スーグラ錠	糖尿病薬	術前3日
	スージャヌ配合錠	糖尿病薬	術前3日
	セキソピット錠	ホルモン薬	該当資料はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)

	セロクラール錠	脳循環・代謝改善薬	1日
夕行	ダイホルモン・デポー注	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	タケルダ配合錠	抗血小板薬	7-10日
	タモキシフェン錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	チクロピジン塩酸塩錠	抗血小板薬	10-14日
	注射用HCG	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬
	デイゲル	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	デベルザ錠	糖尿病薬	術前3日
	トラディアンス配合錠	糖尿病薬	術前3日
	トラピジル錠	抗血小板薬	2-3日
	トリキュラー錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	ドルナー錠	抗血小板薬	1日
	トレミフェン錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	ドロエチ配合錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、 産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
ナ行	ニセルゴリン錠・細粒	脳循環・代謝改善薬	1-2日
	ニトギス配合錠	抗血小板薬	7-10日
	ノアルテン錠	ホルモン薬	該当資料はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	ノルバデックス錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	ノルレボ錠	ホルモン薬	該当資料はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
ハ行	バイアスピリン錠	抗血小板薬	7-10日
	バゼドキシフェン錠	ホルモン薬	長期不動態(術後回復期、長期安静期等)に入る前に本剤の投与を中止し、完全に歩行可能になるまでは投与を再開しないこと(添付文書・IF) 薬物血中濃度半減期(23～35時間)を考慮して3日前に中止(メーカー回答)
	バッサミン配合錠	抗血小板薬	7-10日
	パナルジン錠・細粒	抗血小板薬	10-14日
	パファリン配合錠	抗血小板薬	7-10日
	ヒスロンH錠	ホルモン薬	術後1週以内の患者には禁忌、術後4週以内の患者には慎重に投与(添付文書・IF) 術前4週～休薬し、血液検査で血液凝固能を検査する(メーカー回答)
	ピビアント錠	ホルモン薬	長期不動態(術後回復期、長期安静期等)に入る前に本剤の投与を中止し、完全に歩行可能になるまでは投与を再開しないこと(添付文書・IF) 薬物血中濃度半減期(23～35時間)を考慮して3日前に中止(メーカー回答)
	ファポワール錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	ファモター配合錠	抗血小板薬	7-10日
	フェアストーン錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	フェソロデックス筋注	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	フェマール錠	ホルモン薬	7日(高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案)
	フォシーガ錠	糖尿病薬	術前3日
	プラザキサカプセル	抗凝固薬	1-2日
	プラノバル配合錠	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	プラビックス錠	抗血小板薬	14日
	プリウエル配合錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	プリモジアン・デポー筋注	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	プリリタ錠	抗血小板薬	5日
	プレタール錠・OD錠・散	抗血小板薬	3日
	プレマリン錠	ホルモン薬	術前4週以内または長期臥床状態の患者には治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与(添付文書・IF)
	プロギノン・デポー筋注	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	プロゲホルモン筋注用	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	プロサイリン錠	抗血小板薬	1日
	プロセキソール錠	ホルモン薬	該当資料はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	ペラサスLA錠	抗血小板薬	1日
	ペラニンデポー筋注	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	ペラプロストNa錠	抗血小板薬	1日
	ペラプロストナトリウム錠	抗血小板薬	1日
	ペルサンチン錠	抗血小板薬	1-2日
	ホーリンV腔用錠	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	ホーリン錠	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
マ行	マーベロン	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、 産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	メタクト配合錠	糖尿病薬	術前2日
	メトアナ配合錠	糖尿病薬	術前2日
	メトグルコ錠	糖尿病薬	術前2日
	メトホルミン塩酸塩錠	糖尿病薬	術前2日
	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠	ホルモン薬	術後1週以内の患者には禁忌、術後4週以内の患者には慎重に投与(添付文書・IF) 術前4週～休薬し、血液検査で血液凝固能を検査する(メーカー回答)
	メノエイドコンビパッチ	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)

ヤ行	ヤーズフレックス配合錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、 産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	ヤーズ配合錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、 産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
ラ行	ラベルフィーユ	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、 産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	ラロキシフェン塩酸塩錠	ホルモン薬	静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症、肺塞栓症、網膜静脈血栓症を含む）のリスクが上昇するため、長期不動態（術後回復期、長期安静期等）に入る3日前には本剤の服用を中止し、完全に歩行可能になるまでは投与を再開しないこと(添付文書・IF)。
	リクシアナ錠・OD錠	抗凝固薬	1日
	リバーロキサパン錠・OD錠	抗凝固薬	1日
	リマプロストアルファデクス錠	抗血小板薬	1日
	ル・エストロジェル	ホルモン薬	術前または長期臥床状態の患者には慎重に投与(添付文書・IF)
	ルセフィ錠・ODフィルム	糖尿病薬	術前3日
	ルティナス錠	ホルモン薬	休薬の必要性はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	ルテウム腔用坐剤	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	ルテステボ-注	ホルモン薬	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	ルトラル錠	ホルモン薬	該当資料はないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬(メーカー回答)
	ルナベル配合錠	ホルモン薬	術前4週～術後2週まで休薬、産後4週以内及び長期間安静状態の患者は禁忌(添付文書・IF)
	レトゾール錠	ホルモン薬	7日（高知大学医学部附属病院乳腺外科推奨案）
	ロコルナル錠	抗血小板薬	2-3日
	ロトリガ粒状カプセル	脳循環・代謝改善薬	7-10日
	ロレアス配合錠	抗血小板薬	14日
ワ行	ワーファリン錠・顆粒	抗凝固薬	4-5日
	ワルファリンK錠・細粒	抗凝固薬	4-5日